CQX1A1555Z

取扱説明書

CD-P650

CDプレーヤー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはAVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

リモコン(RC-1270)×1
リモコン用乾電池（単3）×2
RCAオーディオケーブル ×1
リモートコントロールケーブル ×1
取扱説明書(本書)×1
保証書 ×1

使用上の注意

- ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。
- 再生中はディスクが高速で回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたままの移動は、故障の原因となります。
- 本機がスタンバイ(オフ)状態のときでも、待機電力が消費されます。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

万一、異常が起きたら
煙が出たり、変なにおいや音がするときは。
機器の内部に異物や水などが入ったときは。
この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。

すぐに機器本体の電源をスタンバイ状態にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。

禁止

電源コードを傷つけない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。

電源プラグにほこりをためない。

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。

内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

分解禁止

この機器のキャビネットは絶対に外さない。

キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。

この機器を改造しない。

火災・感電の原因となります。

強制

この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。
ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のケーブルを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源をスタンバイ状態にし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

注意 乾電池に関する注意

禁止

乾電池は絶対に充電しない。
破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

注意 乾電池に関する注意

強制

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。
間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しないときは電池を取り出しておく。
液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

禁止

指定以外の電池は使用しない。
新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。
破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

分解禁止

金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。
ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

分解しない。
電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」ロゴマークのあるCD

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。
または、MP3/WMAファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

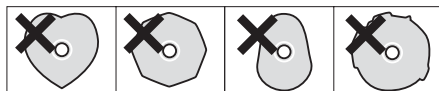
- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)とMP3/WMA形式で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、信号記録部分を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　持ち方

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

MP3/WMAについて

本機はCD-R/CD-RWやUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット

MP3 (拡張子「.mp3」)
　　ビットレート　8kbps ～ 320kbps
　　サンプリング周波数　16kHz ～ 48kHz
WMA (拡張子「.wma」)
　　ビットレート　48kbps ～ 192kbps
　　サンプリング周波数　32、44.1、48kHz

※ DRM(Digital Right Management)には対応していません。

ファイル情報の表示について

本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

- ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は出来ますがディスプレーに正しく表示できません。

パソコンを使って MP3/WMAファイルを作成する際の注意

- ファイル名には必ず拡張子を付けてください。拡張子のないファイルは認識できません。
- CD-R/CD-RWへの記録後は、ファイナライズしてください。ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- 本機で対応できる最大曲数は2000曲、最大フォルダー数は99です。最大数を超えて記録されている場合は正しく再生できません。

USB機器について

本機で使用できるUSB機器

- 本機は、USBマスストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマスストレージクラスであるかは、USB機器の発売元にお問い合わせください。
- 最大消費電流が、500mA以下の機器のみ使えます。
  ※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
- 使用可能フォーマットは、FAT12/16/32です。
- 再生可能な最大フォルダー数：99
- 再生/録音可能な最大ファイル数：2000

注 意

- 最大消費電流が500mA以上の機器は使わないでください。
- セキュリティ機能等の特殊機能がある機器は使わないでください。
- 2つ以上の区画に分かれている機器は使わないでください。
- USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。
- USB端子で充電するUSBフラッシュメモリープレーヤーでは、使用できないものがあります。
- 本機ではUSBメモリーに記録されているファイルをコピー、または移動することはできません。
- USBメモリーの状態によっては、ファイルが再生できなかったり、音が途切れることがあります。

USBメモリーへの録音

本機では、CDの音声をMP3形式にして、USBメモリーに録音することができます。
録音方法は、26ページをご覧ください。

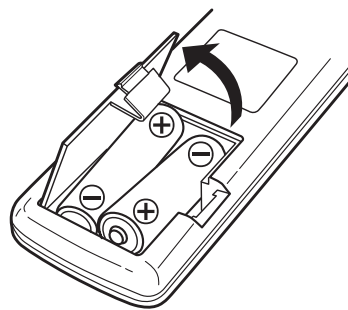
リモコンの使い方

使用上の注意

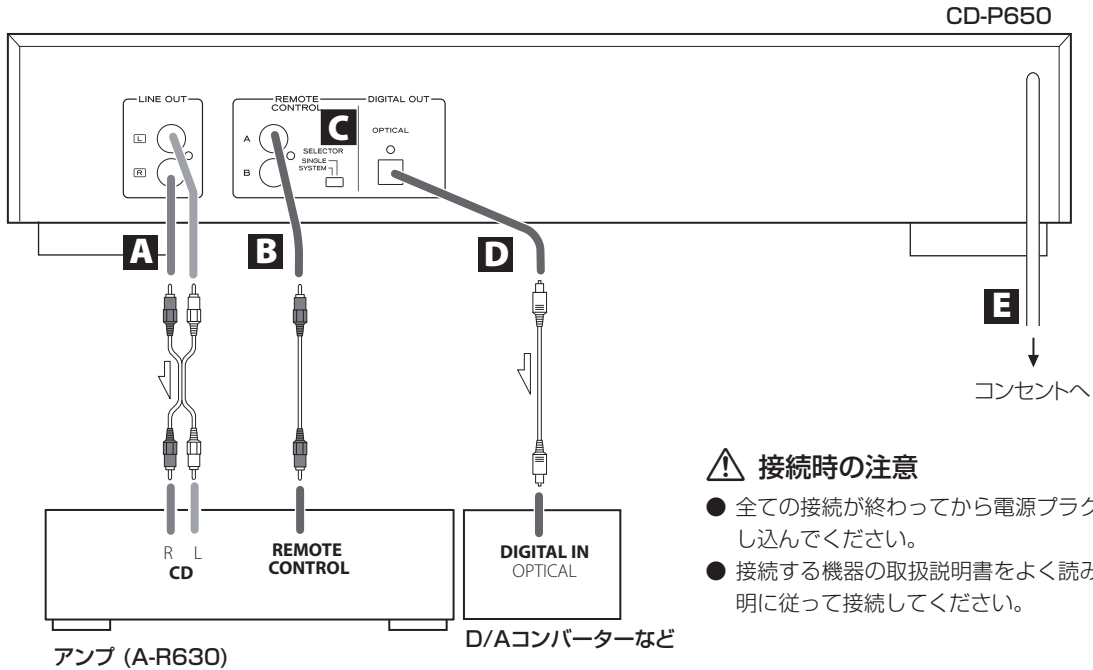
⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

接　続

⚠ 接続時の注意

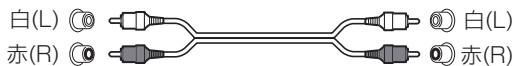
● 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。

● 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アナログ音声出力端子

アナログの音声が出力されます。

付属のRCAオーディオケーブルを使って、本機をアンプのCD入力端子に接続してください。

オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

● プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B リモートコントロール端子 [REMOTE CONTROL]

本機のリモートコントロール端子(AまたはB)とA-R630のリモートコントロール端子を本機に付属のリモートコントロールケーブルで接続してください。(以下システム接続と表記します)リモートコントロールセレクタースイッチを「SYSTEM」に切り替えるとA-R630に付属のリモコンで本機を操作できるとともに、以下のようなシステム機能が使えるようになります。

● 本機の再生ボタン(►)を押すと、アンプの入力切換は自動的にCDにセットされます。

● アンプの入力切換がCDになっている状態でアンプの電源を入れると、自動的にCDの再生を開始します。

A-R630に付属のリモコンで以下の操作が可能になります。

本機がCDモード/USBモードでUSBメモリー接続時
　再生/一時停止(▶/❚❚)、停止(■)、スキップ(⏮/⏭)、リピート、シャッフル、タイム, 数字ボタン (1 - 0)

本機がUSBモードでiPod接続時
　再生/一時停止(▶/❚❚)、スキップ(⏮/⏭)、リピート、シャッフル

C リモートコントロールセレクタースイッチ [REMOTE CONTROL SELECTOR]

本機とA-R630をシステム接続し、このスイッチを「SYSTEM」に切り替えるとシステム機能が使えるようになります。システム機能をお使いにならない場合、A-R630をお持ちでない場合は、「SINGLE」に設定してください。

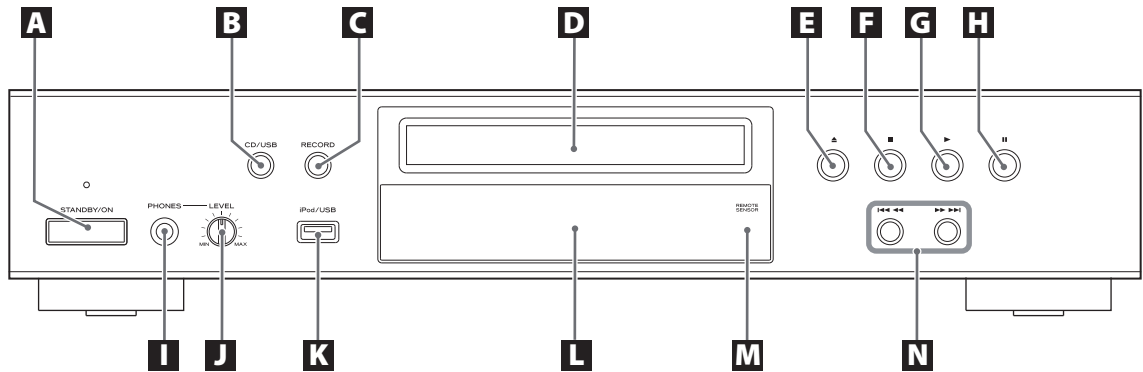
D デジタル音声出力端子

2チャンネルのデジタル音声出力端子です。CD、iPod、USBメモリー再生時には44.1kHz/16bitのPCM信号が出力されます。接続には、市販の光デジタルケーブルをご使用ください。

E 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

各部の名前とはたらき(本体)

A 電源ボタン [STANDBY/ON]

電源のスタンバイとオンを切り換えます。
スタンバイではインジケーターが赤に光ります。オンではインジケーターが消灯します。

B CD/USBボタン[CD/USB]

再生するソースを切り換えます。CDの再生か、USB端子に接続したUSBメモリーまたはiPodの再生を選びます。

C 録音ボタン[RECORD]

このボタンを押すと、USBメモリーへの録音が開始されます。
3秒以上の長押しで、録音設定モードに切り替わります。

D ディスクトレー

E 開閉ボタン [⏏]

ディスクトレーを開閉します。

F 停止ボタン [■]

再生、録音を停止します。

G 再生ボタン [▶]

再生を開始します。

H 一時停止ボタン [❚❚]

再生を一時停止します。

I ヘッドホン端子[PHONES]

ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグを端子に差し込みます。

J ヘッドホン音量つまみ

ヘッドホンの音量を調節できます。

K iPod/USB端子

iPodまたはUSBメモリーを接続します。

L ディスプレー

M リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

N スキップボタン[⏮ ◀◀/▶▶ ⏭]

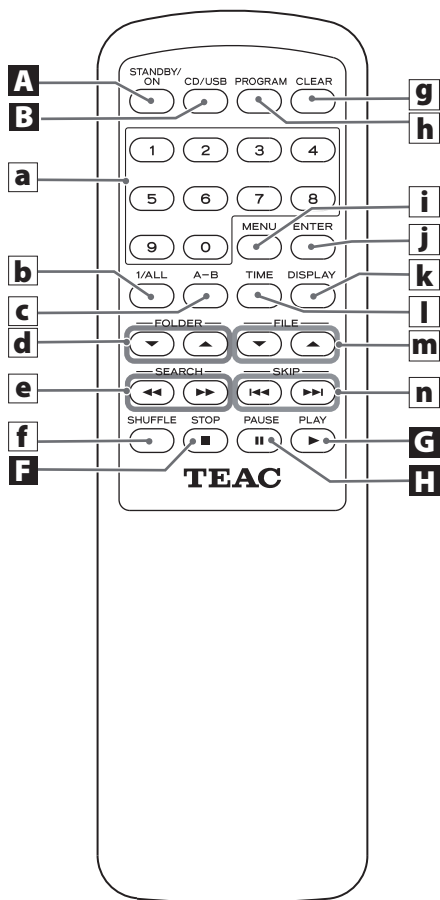
再生、または一時停止中に、このボタンを押すと曲がスキップします。
再生中にこのボタンを押したままにすると曲の早送り/早戻しができます。

各部の名前とはたらき(リモコン)

a 数字ボタン
選曲に使用します。

b 1/ALLボタン [1/ALL]
リピート再生のモードを切り換えます。(22ページ)

c A-Bボタン[A-B]
A-Bリピートの始点と終点の設定を行います。(22ページ)

d フォルダーボタン [FOLDER▼/▲]
MP3/WMA再生の時、前または次のフォルダーにスキップします。(17ページ)

e サーチボタン [◀◀/▶▶]
再生中に押したままでいると、早送り/早戻しできます。(16ページ)

f シャッフルボタン [SHUFFLE]
シャッフル再生に使用します。(23ページ)

g クリアボタン [CLEAR]
プログラムした曲を取り消します。(21ページ)

h プログラムボタン[PROGRAM]
このボタンを押すと、プログラムモードに入ります。(19～21ページ)

i メニューボタン [MENU]
iPod接続時にこのボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。iPodのメニューボタンと同じ働きをします。(18ページ)

j 決定ボタン [ENTER]
フォルダーボタン(FOLDER)やファイルボタン(FILE)で選んだものを確定します。(17、18ページ)

k ディスプレーボタン [DISPLAY]
MP3/WMAファイルの再生中にこのボタンを押すと、ディスプレーの表示が切り替わります。(24ページ)

l タイムボタン [TIME]
CDの再生中にこのボタンを押すと、ディスプレーの表示が切り替わります。(23ページ)

m ファイルボタン[▼/▲]
MP3やWMAファイルの選択を行います。(17ページ)
iPod接続時には、メニューのスクロールを行います。(18ページ)

n スキップボタン[I◀◀ / ▶▶I]
再生、または一時停止中に、このボタンを押すと前または次の曲にスキップします。(16ページ)

基本操作

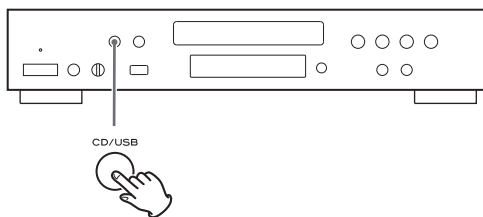
電源を入れる

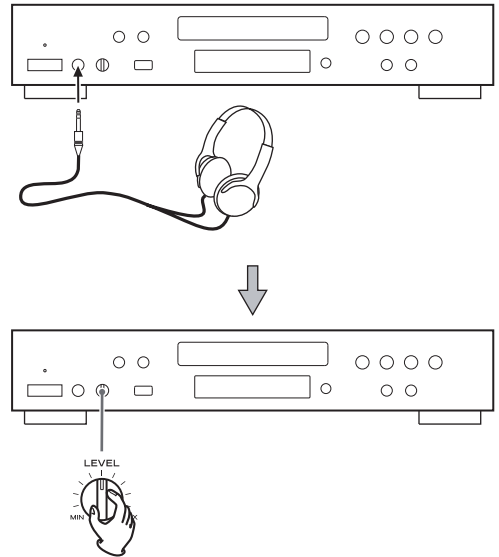
電源ボタン(STANDBY/ON)を押して、電源をオンにします。

電源オンで、電源インジケーターが消灯します。
電源がスタンバイになると電源インジケーターが赤く点灯します。

再生ソースを選択する

CD/USBボタン(CD/USB)を押すと、再生ソースがCD↔USBと交互に切り替わります。

USB端子に接続したUSBメモリーまたは、iPodに付属のUSBケーブルでUSB端子に接続したiPodを再生するには「USB」を選んでください。

ヘッドホンで音楽を聴く

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグをヘッドホン端子に差し込み、ヘッドホン音量つまみ(LEVEL)で音量を調節してください。

- ヘッドホンプラグが差し込まれても、アナログ/デジタル音声出力端子から出力されます。

iPodについて

本機には、iPodのメニューをiPodのスクリーンに表示する「ダイレクトモード」と本機のディスプレーに表示する「エクステンデッドモード」の2つのモードがあります。工場出荷時は、「ダイレクトモード」に設定されています。
モードの切換え方法については、18ページの「メニュー画面の表示先を切換える」をご覧ください。

本機で使用できるiPod (2010年7月現在)

本機で使用できるiPodは以下の通りです。

iPod (第5世代)
iPod classic
iPod nano (第1世代から第5世代)
iPod touch (第1世代から第3世代)

以下のモデルは、ダイレクトモードに対応していません。

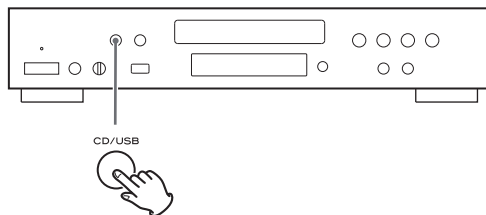
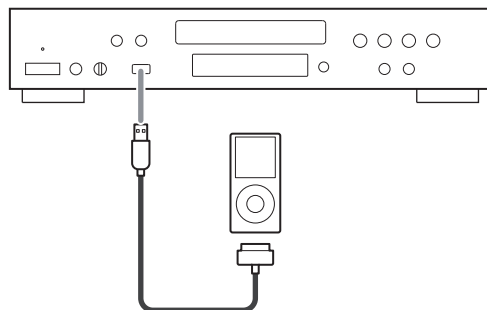
iPod (第5世代)
iPod nano (第1世代、第2世代)

- 本機はiPodのビデオ出力には対応していません。
- iPodシャッフルには対応していません。

本機で使用できるiPodについては、以下の弊社ホームページのiPod対応表もご覧ください。

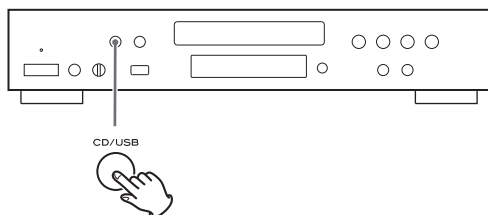
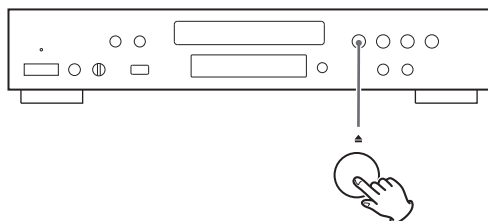
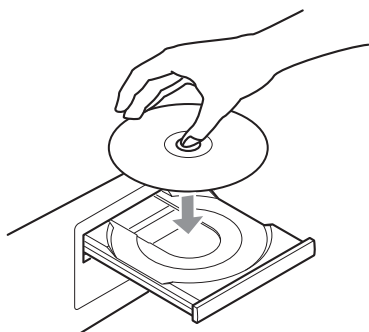
iPod対応表
http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

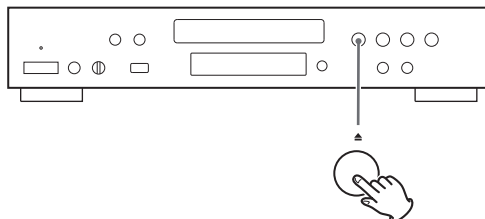
iPodを聴く

1 CD/USBボタン(CD/USB)を押して、「USB」を選ぶ。

2 iPodに付属のUSBケーブルを使用して、本機に接続する。

iPodの電源が自動的にオンになり、iPodのプレイリストにしたがって再生が始まります。

- iPodが「エクステンデッドモード」に設定されているとき、自動再生は行われません。決定ボタン(ENTER)を3回押すと再生が始まります。
- ソースが「CD」のときにiPodを接続すると、iPodの電源がオンになり、iPodは一時停止状態になります。
- iPodが本機と接続されていて、本機の電源がオンの間は常にiPodを充電します。フル充電すると充電を停止します。本機がスタンバイの時は充電しません。
- 本機にiPodが接続されているときは、iPodのヘッドホンから音は出ません。ヘッドホンでお聴きになりたいときは、本機のヘッドホンジャックに、ヘッドホンを接続してください。

ディスクを聴く

1 CD/USBボタン(CD/USB)を押して「CD」を選ぶ。

2 開閉ボタン(▲)を押す。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。

- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。
- 複数のディスクをトレーに置かないでください。
- 特殊形状のCDは、使用しないでください。

4 開閉ボタン(▲)を押す。

ディスクトレーが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

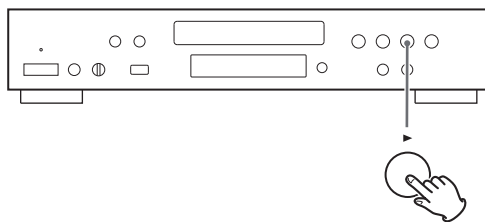
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

オーディオCD
ディスクの総曲数および総再生時間が表示されます。

(例)
```
CD/Stop
T016  72:00
```

MP3/WMAディスク
ディスクの総曲数が表示されます。

(例)
```
CD/Stop
Total file 010
```

5 再生ボタン(►)を押す。

1曲目から再生が始まります。

オーディオCD

(例)

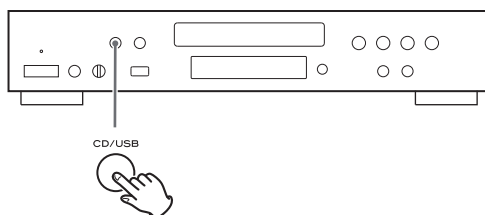
MP3/WMAディスク

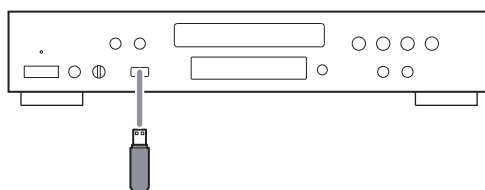
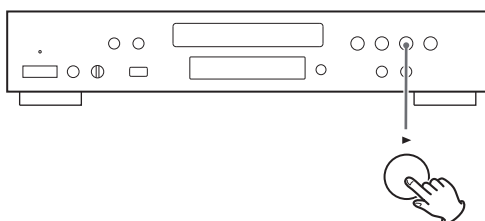
(例)

- フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられます。ROOTフォルダーの1曲目から再生が始まります。
- MP3/WMAのファイルの入っていないフォルダーはスキップして再生します。
- MP3/WMAファイルの再生中は「ファイル名-アーティスト名-アルバム名」がスクロール表示されます。
- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示されません。
- 最後の曲の再生が終わると停止します。
- ディスクをのせたあと、開閉ボタン(▲)を押さずに再生ボタン(►)またはシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、自動的にトレーが閉じて再生を始めます。

USBメモリーを聴く

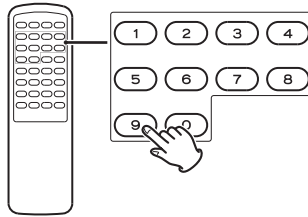
本機はUSBメモリーに保存されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

1 CD/USBボタン(CD/USB)を押して、「USB」を選ぶ。

USBメモリーが接続されていないときは、ディスプレーに「Not connected」と表示されます。

2 USBメモリーを本機に接続する。

3 再生ボタン(►)を押す。

最初のファイルから再生が開始されます。

基本再生

CD **USB**

数字ボタンで曲番を選んで再生する

再生中または停止中に、数字ボタンを押して曲番/ファイル番号を選んで再生できます。

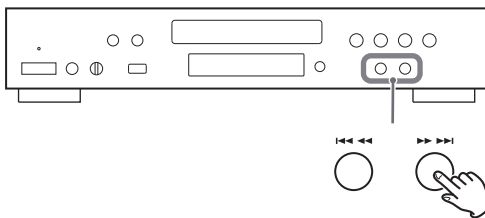
(例)

曲番/ファイル番号「7」：

曲番/ファイル番号「23」：

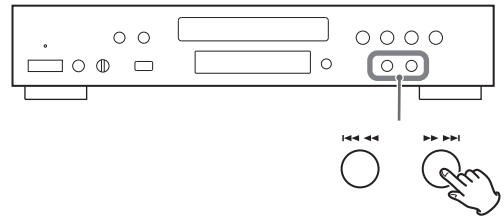
選んだ曲番から自動的に再生されます。

CD **USB** **iPod**

早送り/早戻しをする

再生中にスキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。指をはなすと、そこから再生が始まります。
リモコンで操作する時は、サーチボタン(◀◀/▶▶)を使用します。

● USBモードではサーチ中は、音は出ません。
● 最後の曲の終わりまで来ると、停止します。

CD **USB** **iPod**

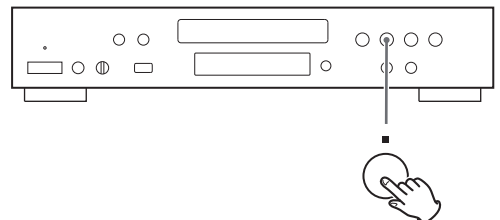
曲をスキップする

再生中に▶▶ ▶▶⏭を押すと、次の曲にスキップします。
希望する曲になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

再生中に、⏮◀◀ ◀◀を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮◀◀ ◀◀を続けて押してください。
前の曲を再生したいときは、⏮◀◀ ◀◀を2回押してください。

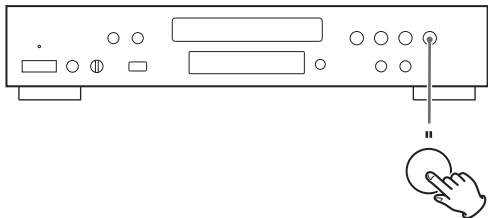
停止中は、⏮◀◀ ◀◀または▶▶ ▶▶⏭をくり返し押して希望の曲番を選んだあと、再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。

● プログラム再生(19～21ページ)中は、プログラムした曲の前または次の曲にスキップします。

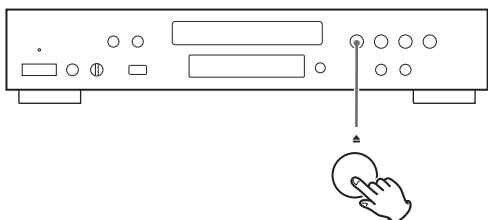
CD **USB**

停止する

停止ボタン(■)を押すと停止します。
再生を再開したいときは、再生ボタン(▶)を押します。
最初の曲から再生が始まります。

CD USB iPod

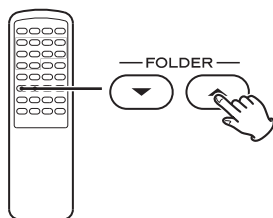
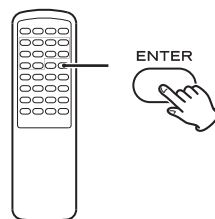
一時停止する

再生中に、一時停止ボタン(❚❚)を押と再生が一時停止します。
もう一度再生ボタン(▶)を押すと、一時停止したところから再び再生が始まります。

CD

ディスクを取り出す

開閉ボタン(⏏)を押すと再生が停止してディスクトレーが開きます。
ディスクを取り出し、もう一度開閉ボタン(⏏)を押してディスクトレーを閉じてください。

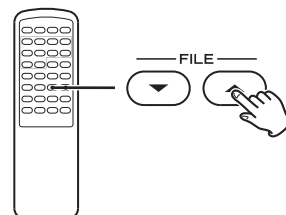
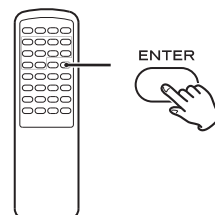
CD USB

フォルダーを選ぶ
(MP3/WMAディスク、USBメモリーのみ)

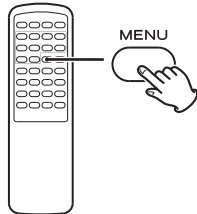
1 フォルダーボタン(▼/▲)を押して、再生したいフォルダーを選ぶ。

2 決定ボタン(ENTER)を押す。

フォルダーが選択されます。決定ボタン(ENTER)をもう一度押すと、フォルダーに入っている最初のファイルから再生が開始されます。

CD USB

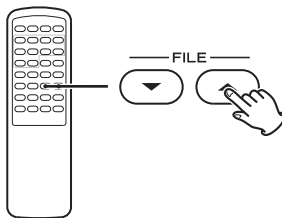
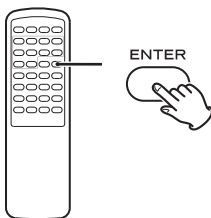
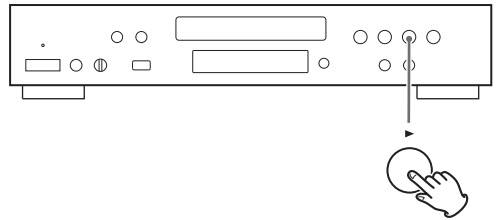
ファイルを選ぶ
(MP3/WMAディスク、USBメモリーのみ)

1 ファイルボタン(▼/▲)を押して、再生したいファイルを選ぶ。

2 決定ボタン(ENTER)を押す。

選んだ曲から再生が始まります。

iPodの操作

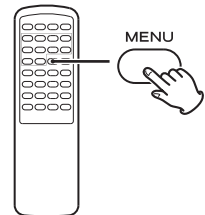
前のメニューに戻る

メニュー (MENU)を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
iPodのMENUボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶ

1 **ファイルボタン(▼/▲)を押して、メニューアイテムを選ぶ。**

2 **決定ボタン(ENTER)を押す。**

iPodをスリープモードにする

ダイレクトモード時に再生ボタン(►)を5秒以上押し続けるとiPodがスリープモードになります。
スリープモードをキャンセルするときは、再生ボタン(►)を押してください。

● エクステンデッドモード時は、スリープモードにできません。

メニュー画面の表示先を切換える

メニュー画面の表示先をiPodのスクリーンから本機のディスプレーに切換えることができます。

iPod接続時、メニューボタン(MENU)を4秒以上押し続けると切換えができます。

ダイレクトモード(初期設定)

メニューが、iPodのスクリーンに表示されます。
本機のディスプレーには、「Direct Mode(ダイレクトモード)」と表示されます。
iPodのメニュー画面で、iPodを操作します。

エクステンデッドモード

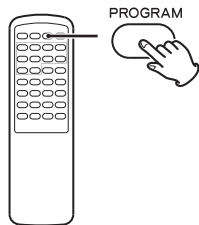
本機ディスプレーにiPodのメニューが表示されます。
iPodのスクリーンには「TEAC」ロゴが表示されます。
iPodの操作は、本機のボタンまたはリモコンで行います。

● 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示されません。
● iPod Touchの画面には、「TEAC」ロゴは表示されません。

プログラム再生

CD **USB**

32曲まで、プログラムして再生することができます。

1 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。

CDモード

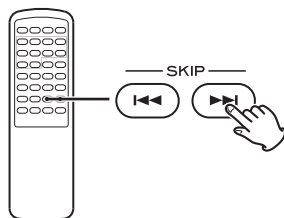
(例)

```
P-00 T000
T016  72:00
```

USBモード

(例)

```
P-00 T0000
Total File 0130
```

2 スキップボタン(⏮/⏭)を押して、曲を選び5秒以内にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。

スキップボタン(⏮/⏭)を押すと、曲番が点滅します。

CDモード

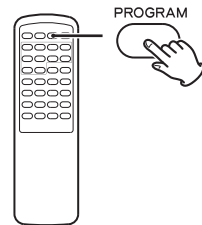
(例)

```
P-01 T001
T016  72:00
```

USBモード

(例)

```
P-01 T0001
Total File 0130
```

スキップボタン(⏮/⏭)を押してプログラムしたい曲番を表示して、プログラムボタン(PROGRAM)を押すと、曲番が確定し、点滅が止まります。

CDモード

(例)

```
P-01 T012
T016  72:00
```

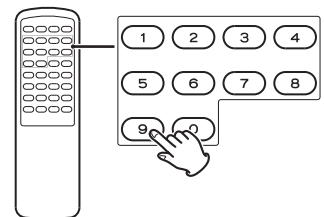
USBモード

(例)

```
P-01 T0012
Total File 0130
```

- この操作を繰り返して、プログラムする曲を追加します。
- 間違えたときは、クリアボタン(CLEAR)を押すと直前の曲を取り消すことができます。
- 32曲までプログラムできます。32曲を超えてプログラムしようとすると、ディスプレーに「P-FULL」と表示され、追加することはできません。

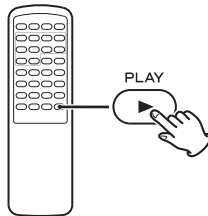
数字ボタンを使用して、直接曲番を入力することもできます。

(例)

曲番/ファイル番号「7」: 7

曲番/ファイル番号「23」: 2 ➡ 3

次ページに続く→

数字ボタンを1つ押すと、曲番が確定しない場合には曲番が点滅します。(例えば、20曲入りのCDディスクをプログラムするとき、はじめに「1」を入力すると、曲番はすぐに確定しないため(「10」や「15」といった曲番の可能性があるため)点滅します。しかし、「5」と入力した場合は、曲番がすぐに確定するため、(20曲しか曲がないので「50」や「51」という可能性がないため)点滅せずに、曲番が確定します。)
点滅中は、数字をひと続きの数字として認識します。続けて曲をプログラムするときは、ご注意ください。
しばらくすると点滅が止まり、曲番が確定します。
また点滅中にプログラムボタン(PROGRAM)を押しても曲番が確定します。
曲番確定後次の曲番を数字ボタンで入力します。
この操作を繰り返して、プログラムする曲を追加します。

3 プログラムが完了したら、再生ボタン(►)を押す。

プログラム再生が始まります。
すべての曲の再生が終わるか停止ボタン(■)を押すとプログラム再生は終了します。

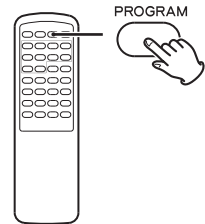
● 電源コードを外すと、すべてのプログラムは消去されます。

CD **USB**

プログラムした曲を再生する

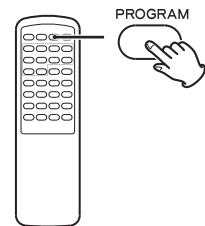
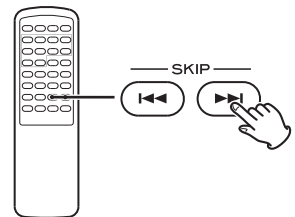
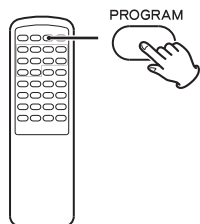
停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押してから、再生ボタン(►)を押すとプログラムした曲が、1曲目から再生されます。

CD **USB**

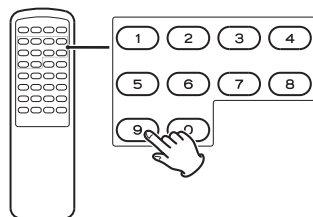
プログラム内容のチェック

停止中にリモコンのプログラムボタン(PROGRAM)を押すと、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

CD **USB**

プログラムの修正

1 停止中に、プログラムボタン(PROGRAM)をくり返し押して、修正したいプログラム番号を表示させる。

2 新しい曲番をスキップボタン(⏮/⏭)を押して選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

プログラムの最後に曲を追加したい場合は、最後の曲の次に「P-End」が一瞬表示されたら、新しい曲番をスキップボタン(⏮/⏭)を押して選んでください。

プログラムボタン(PROGRAM)を押すと、前に設定したプログラムの曲と新しい曲が入れ替わります。
またはプログラムの最後に曲が追加されます。

数字ボタンを使用して、直接曲番を入力することもできます。

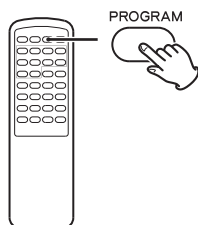
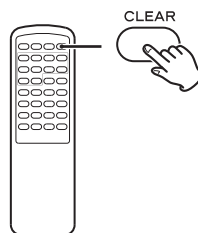
(例)

曲番/ファイル番号「7」:

曲番/ファイル番号「23」:

前に設定したプログラムの曲と新しい曲が入れ替わります。
またはプログラムの最後に曲が追加されます。

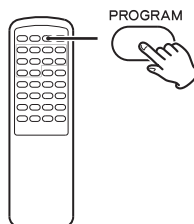
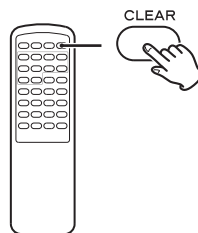
CD **USB**

プログラムした曲を取り消す

1 **停止中に、取り消したい曲番が表示されるまでプログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押す。**

2 **クリアーボタン(CLEAR)を押す。**

選択した曲がプログラムから取り消されます。

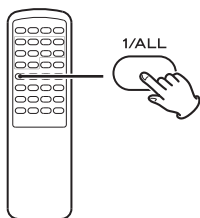
CD **USB**

すべてのプログラム内容を消去する

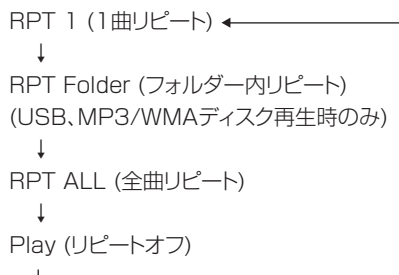
1 **停止中に、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。**

2 **クリアボタン(CLEAR)4秒以上押す。**

以下のボタンを押した場合も、プログラム内容は消去されます。

電源ボタン、開閉ボタン(⏏)

- 電源コードを外すと、すべてのプログラムは消去されます。

リピート再生

CD **USB**

再生中にリピートボタン(1/ALL)を押すと、リピートモードが以下のように切換わります。

RPT 1 (1曲リピート)
↓
RPT Folder (フォルダー内リピート)
(USB､MP3/WMAディスク再生時のみ)
↓
RPT ALL (全曲リピート)
↓
Play (リピートオフ)

1曲リピート(RPT 1)

再生中の曲が繰り返し再生されます。1曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲を繰り返し再生します。

フォルダー内リピート(RPT Folder)

再生中のフォルダー内すべての曲を繰り返し再生します。
フォルダーがないときは、このモードは表示されません。

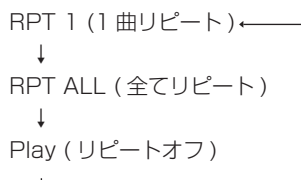
全曲リピート

すべての曲を繰り返し再生します。
プログラム再生中は、プログラムされた曲を繰り返し再生します。

- 停止ボタン(■)を押すとリピート再生はキャンセルされます。

iPod

iPodの再生中にリピートボタン(1/ALL)を押すと、iPodのリピートモードが以下のように切換わります。

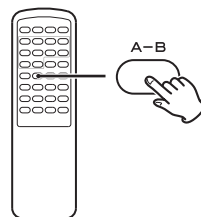
RPT 1 (1 曲リピート)
↓
RPT ALL (全てリピート)
↓
Play (リピートオフ)

1曲リピートを選ぶと、iPodのディスプレーに 🔂 が表示され、再生中の曲を繰り返し再生します。

全てリピートを選ぶと、iPodのディスプレーに 🔁 が表示され、全ての曲を繰り返し再生します。

CD

A-Bリピート

ある1曲の中の特定の部分を繰り返し再生することができます。

1 CDを再生し、繰り返しを始めたい部分(A点)になったらA-Bボタン(A-B)を押す。

(例)
```
CD/Play A-B
T003  00:42
```

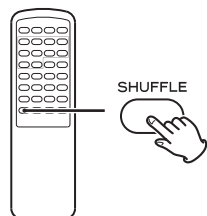
ディスプレーに「A-」が表示され「B」が点滅します。

2 終了したい部分(B点)でもう一度A-Bボタン(A-B)を押す。

(例)
```
CD/Play A-B
T003  01:00
```

ディスプレーに「A-B」と表示されます。
設定したA地点とB地点の間を繰り返し演奏します。

- AとBの間は、3秒以上必要です。
- A-Bボタン(A-B)をもう一度押すとA-Bリピートはキャンセルされます。
- 以下のボタンを押しても、A-Bリピートはキャンセルされます。
  停止(■)、スキップ(⏮/⏭)、1/ALL、シャッフル(SHUFFLE)、開閉(⏏)、電源

シャッフル再生

CD **USB**

CD、USBメモリー再生中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、曲がランダムに再生されます。

CDモード

(例)

```
CD/Random
T003  00:07
```

USBモード

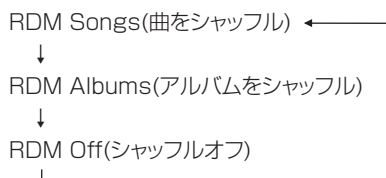
(例)

```
USB/Random
T0003 00:07 WMA
```

- シャッフル再生中に▶▶ ▶▶|ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。|◀◀ ◀◀ボタンを押すと、現在の曲の頭に戻ります。既にシャッフル再生が終わった曲には戻れません。
- シャッフルボタン(SHUFFLE)をもう一度押すと、シャッフル再生はキャンセルされます。
- 停止ボタン(■)を押すとシャッフル再生は終わります。

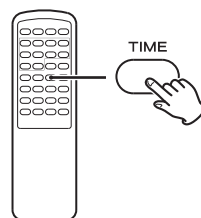
iPod

シャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、iPodのシャッフルモードが以下のように切り換わります。

RDM Songs(曲をシャッフル)
↓
RDM Albums(アルバムをシャッフル)
↓
RDM Off(シャッフルオフ)
(→ RDM Songsへ戻る)

シャッフルモードをオンにしたとき、iPodのディスプレーに🔀が表示されます。

「RDM Songs」を選ぶと、選択したアルバムやプレイリストの曲をランダムに再生します。

「RDM Albums」を選ぶと、アルバムをランダムに選んで再生します。アルバムの中身は、順序通り再生します。

ディスプレー表示

CD **USB**

CDまたはUSBメモリーの再生中に、タイムボタン(TIME)を押すと、ディスプレー表示が切り変わります。

再生中の曲番と再生中の曲の経過時間

(例)

↓

再生中の曲番と再生中の曲の残り時間

(例)

↓

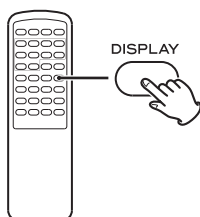
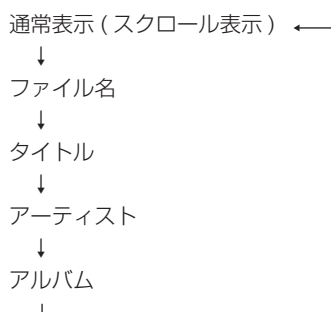
再生中の曲番と再生中ディスクの残り再生時間(オーディオCD再生時のみ表示)

(例)

```
CD/Play
T003 -69:02 TTL
```

ディスプレー表示(続き)

CD USB

ディスプレーの切換え
(MP3/WMAディスク、USBメモリーのみ)

再生中にディスプレーボタン(DISPLAY)を繰り返し押して、曲の情報を表示することができます。

● 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

録音の前に

録音するときのご注意

● 録音中にUSBメモリーを取り外したり電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。

● 録音時のレベルを変えることはできません。

録音されるファイルについて

● 録音されたファイルは「AUDIO」フォルダーに記録されます。

ファイルは、「AUDIO001.MP3」、「AUDIO002.MP3」のように連続した番号で自動的に作成されます。

例：
すでに「AUDIO」フォルダーに「AUDIO004.MP3」と「AUDIO009.MP3」が記録されている場合、次に録音したときに作成されるファイル名は「AUDIO010.MP3」となります。

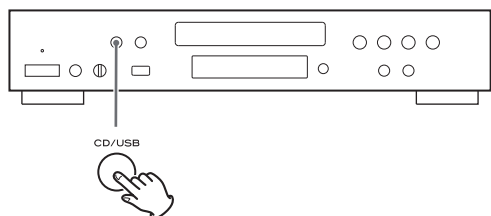
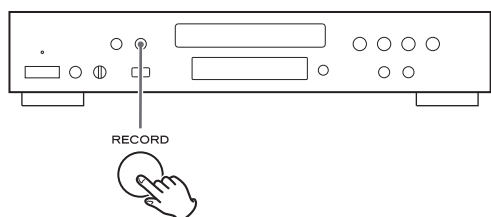
● 本機でUSBメモリーの容量を確認することはできません。録音の前に、あらかじめパソコンで確認してください。

● 本機で操作できる最大ファイル数は2000です。
2000を超えるファイルが入ったUSBメモリーは、本機では正しく操作できません。また2000を超えるファイルを録音することもできません。

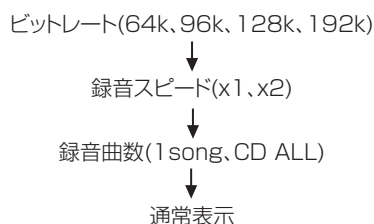
● 録音されるMP3ファイルのビットレートは、64kbit、96kbit、128kbit、192kbitです。

録音設定

ビットレート、録音のスピード、録音曲数(1曲または全曲)などの設定ができます。

1 CD/USBボタン(CD/USB)を押して、「CD」を選択する。

2 停止中に録音ボタン(RECORD)を2秒以上押し続ける。

「REC SET: MP3xxK」と表示されます。(xxには、設定したビットレートが入ります。)

3 録音ボタン(RECORD)を押して設定項目を選ぶ。

録音ボタン(RECORD)を押すと、表示が以下のように変わります。

- 設定項目を通り過ぎた時は、通常表示にして、2からやり直してください。

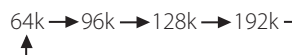
4 スキップボタン(▶▶ ▶▶I)を押して録音設定を行う。

ビットレート

録音時のMP3ファイルのビットレートを選ぶことができます。

(例)

スキップボタン(▶▶ ▶▶I)を押すと、ビットレートが以下のように変わります。

64k → 96k → 128k → 192k

録音スピード

録音の速度を等速または2倍速から選ぶことができます。

スキップボタン(▶▶ ▶▶I)を押すと、録音スピードが以下のように変わります。

等速

2倍速

録音曲数

録音曲数を1曲または、全曲から選択することができます。

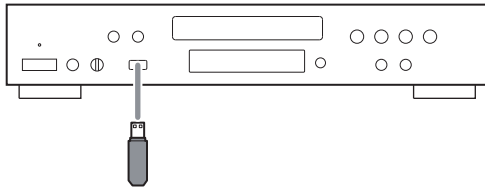
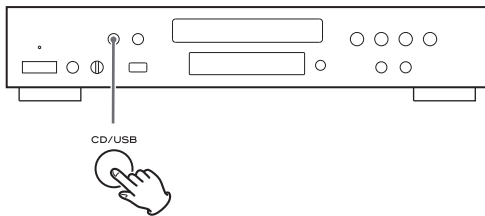
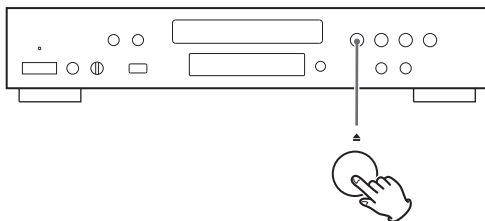
スキップボタン(▶▶ ▶▶I)を押すと、録音の曲数が「1song(1曲)」、「CD ALL(全曲)」と変わります。

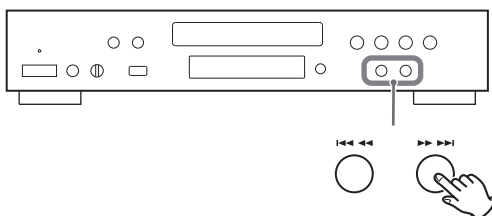
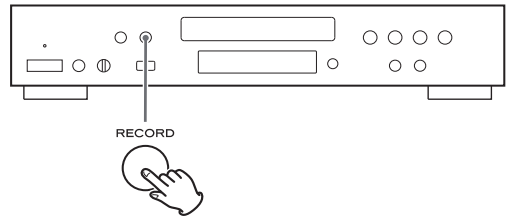
1曲

全曲

設定後しばらくするとディスプレーが通常表示に戻り、設定が完了します。

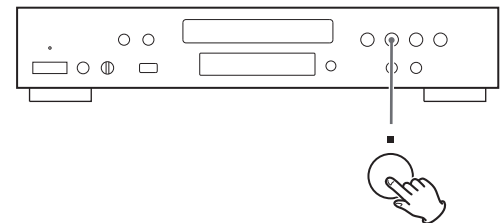
USBメモリーに録音する

1 本機のiPod/USB端子にUSBメモリーを接続する。

2 CD/USBボタン(CD/USB)を押して「CD」に設定する。

3 録音するCDをセットする。

開閉ボタン(⏏)を押しディスクトレーを開き、ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせます。再び開閉ボタン(⏏)を押してトレーを閉じてください。

4 録音設定で1曲録音を選んだときは、スキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押して、録音する曲を選ぶ。

5 録音ボタン(RECORD)を押す。

録音が開始されます。
再生中に録音ボタン(RECORD)を押すと、録音曲数の設定が「1曲」のときは、再生中の曲の始めに戻って、録音が開始されます。「全曲」のときは、CDの1曲目に戻って、録音が開始されます。

● 録音の速度を「2倍速」に設定した場合、音声は出力されません。

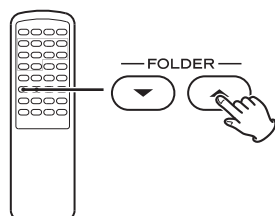
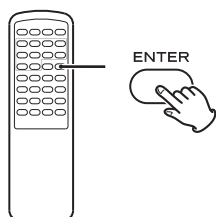
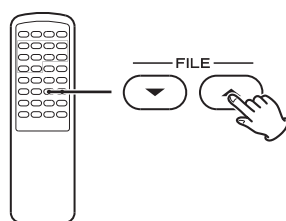
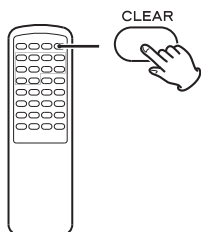
録音が終了すると自動的に停止します。

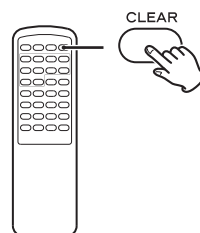
録音の停止

停止ボタン(■)を押すと録音を停止します。

● ディスクの再生は停止しません。もう一度停止ボタン(■)を押すと、再生が停止します。

USBメモリーからファイルを消去する

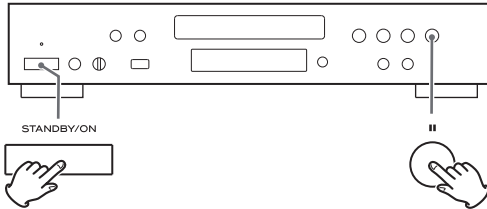
USBメモリーからファイルを選んで消去することができます。

1 停止中に、フォルダーボタン(▼/▲)を押してフォルダーを選択する。

2 決定ボタン(ENTER)を押す。

3 ファイルボタン(▼/▲)ボタンを押して曲を選ぶ。

4 クリアボタン(CLEAR)を4秒以上押し続ける。

ディスプレーに「Delete?」が表示されます。

5 3秒以内にもう一度クリアボタン(CLEAR)を押す。

- 3秒以内にクリアボタン(CLEAR)を押さないと、消去の操作はキャンセルされます。

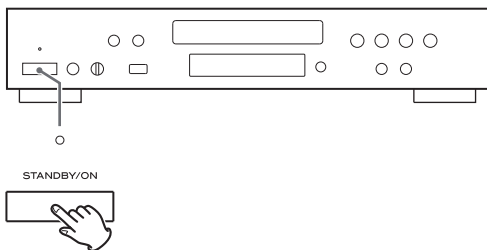
出荷時の設定に戻す

本機が正常動作しない場合、工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって正常な状態に戻ることがあります。

1 スタンバイモードのとき、一時停止ボタン(❚❚)と電源ボタンを同時に3秒以上押す。

ディスプレーにバージョンが表示されます。

2 電源コードをコンセントから抜く。

3 1分以上経過してから電源コードを再びコンセントに差し込む。

4 電源ボタンを押してオン状態にする。

すべての設定は、工場出荷時の設定に戻ります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

電源が入らない

➡ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない

➡ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。
➡ アンプの操作を確認してください。

ディスプレーに「Power protect」の文字が表示されスタンバイになる

➡ 電源が安定していません。しばらく時間を置いてから、電源を入れ直してください。

ディスプレーに「Over current」の文字が表示される

➡ USBメモリーの消費電力が500mAを超えるものを接続したままUSBモード以外にしないでください。USB以外のモードにする時は、USBメモリーを外してください。

リモコンで操作できない

➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ A-R630に付属のリモコンで操作する場合は、A-R630と本機のリモートコントロール端子同士を接続し、リモートコントロールセレクタースイッチを「SYSTEM」にしてください。
➡ A-R630に付属のリモコンで操作する場合は、操作する前にリモコンの入力切換ボタンで「CD」を選んでください。

CDプレーヤー

再生できない

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。
➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機では再生できません。

音飛びがする

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたディスクは使わないでください。

iPod

iPodが動作しない

➡ 一度iPodをUSB端子から外し、しばらくしてから再度iPodを接続してください。
➡ iPodのソフトウェアをアップデートすることで問題が解決する場合があります。アップルのホームページにアクセスして、最新情報を確認してください。

iPodの操作ができない

➡ iPodのHOLDスイッチを解除してください。

MP3/WMA

再生ボタン(►)を押しても、音が出ない

➡ USBメモリーにMP3、WMAのファイルがあるかどうかご確認ください。
➡ ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3/WMAファイルです。

ディスプレーに「No Song title No srtist No album」と表示される

➡ ファイルにID3タグが入っていません。パソコンなどでID3タグを編集したMP3/WMAファイルを作成してください。本機で録音したMP3ファイルにはID3タグは記録されません。

正しく表示されない文字がある

➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

録音できない

➡ USBメモリーに空き容量があるか確認してください。
➡ USBメモリーがロックされていないか確認してください。

正常に動作しないときは、本機の電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

仕　様

CDプレーヤー部

ピックアップ . . . . . . 3ビーム、半導体レーザー
デジタルフィルター 8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター
周波数特性 . . . . . . 20Hz～20kHz ±2dB
全高調波歪率 . . . . . . 0.005%以下(1kHz)
S/N比 . . . . . . 100dB以上(IHF-A)
アナログ出力 . . . . . . 2.0V(RCA)

USB部

対応USB機器 . . . . . . USBマスストレージクラスデバイス
インターフェース . . . . . . USB2.0(Full speed) USB1.1互換
ファイルシステム . . . . . . FAT 12/16/32
USB出力電圧 DC5V
USB供給電流 . . . . . . 最大 500mA

USB 録音フォーマット

記録フォーマット MP3
ビットレート . . . . . . 64、96、128、192kbps
サンプリング周波数 . . . . . . 44.1kHz STEREO

MP3/WMA 再生フォーマット

MP3

対応規格 . . . . . . MPEG-1/2 Audio Layer-3
拡張子 mp3
ビットレート . . . . . . 8kbps ～ 320kbps
サンプリング周波数 . . . . . . 16kHz ～ 48kHz

WMA

対応規格 . . . . . . Windows Media Audio Standard (DRM非対応)
拡張子 . . . . . . .wma
ビットレート . . . . . . 48kbps ～ 192kbps
サンプリング周波数 . . . . . . 32、44.1、48kHz
最大フォルダー数 99
最大ファイル数 2000

一般

電源 . . . . . . AC100V、50-60Hz
消費電力 25W
待機電力 0.5W
外形寸法（幅、高さ、奥行） . . . . . . 435×85×285mm
質量 4.0kg
動作保証温度 . . . . . . 5℃～35℃

付属品

リモコン(RC-1270)×1
リモコン用乾電池(単3)×2
RCAオーディオケーブル×1
リモートコントロールケーブル×1
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日、販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

28ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDプレーヤー　CD-P650
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として愉しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先(社)私的録音補償金管理協会
Tel:03-3261-3444 Fax:03-3261-3447

分解･改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0710・MA-1622A